

## 第7回 EST 普及推進フォーラムにおけるカーボンオフセット完了のご報告

### ■カーボンオフセットとは

地球温暖化の進行を防ぐためには、人間の活動に伴って排出される CO<sub>2</sub> などの温室効果ガスの量を減らす必要があります。

地球温暖化対策の一つとしてカーボンオフセットという手法が注目されています。これは、日常生活や経済活動に伴う温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせ（オフセット）することです。カーボンオフセットが普及すれば、個人や企業による自主的な地球温暖化対策への貢献が促進されるだけでなく、温室効果ガス排出削減プロジェクトへの資金供給も促進されることから、政府等も普及啓発活動を展開しています。

※エコモ財団でも、交通・観光分野でのカーボンオフセットの普及促進を図るため、事業者が自社商品・サービスにカーボンオフセットを導入する際の負担を軽減し、CO<sub>2</sub> 排出量の算定や排出枠の購入をウェブ上で可能にする支援システムを構築・運用しています。

[http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon\\_offset/carbonoffset\\_system.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html)

### ■今回の取組の概要

#### (1) ねらい

交通に関係する方々にカーボンオフセットについて知っていただくために取り組みました。

#### (2) 実施主体

エコモ財団（オフセットの費用を負担）

#### (3) オフセット対象

- ・第7回 EST 普及推進フォーラムの参加者・運営者の移動に伴う CO<sub>2</sub> 排出量
- ・第7回 EST 普及推進フォーラムの会場の電力使用による CO<sub>2</sub> 排出量

#### (4) 排出量の算定

以下のガイドライン等に準拠し、当財団にて実施しました。

- ・『交通・観光カーボンオフセットガイドライン』（当財団発行）
- ・『カーボンオフセットの対象活動から生じる温室効果ガス排出量の算定方法ガイドライン』（環境省発行）
- ・『会議・イベントにおけるカーボンオフセットの取組のための手引き』（環境省発行）
- ・Defra（英国環境・食料・農村地域省）の GHG 排出量算定方法

#### (5) 算定排出量

2,272kg・・・全量をオフセットしました。

（内訳：飛行機 1,336kg、鉄道 873kg、バス 13kg、タクシー2kg、会場電力使用 49kg）

#### (5) 使用した排出権の概要

国内クレジット

